

第21回文化芸術講座

写真館がとらえた フランス人の人生の節目： 1860年代～1990年代



10月21日(土)午後2時～4時
大野台公民館 大会議室

フランスの4つの写真館の肖像写真のコレクションをもとに、フランスと日本の人生の節目の迎え方を考えます

◆ **第1部** 肖像写真からみるフランスのファミリーストーリー

◆ **第2部** フランスと日本の価値感の違い

■募集要領

- 9月6日(水)午前9時より電話または窓口で受付開始
- 先着40名 ●受講料 無料
- 申込・問合せ 042-755-6000
- 主催 公民館文化部

■講師



Sylvie Gillet-Suzuki 氏
(シルヴィ・ジレ＝鈴木)
フランス語講師・通訳

<裏面参照>

木もれびの森 大野台公民館



■第21回文化芸術講座

写真館がとらえたフランス人の人生の節目： 1860年代～1990年代

■講座概要

講師の親戚の4つの写真館が1860年代より撮りためた肖像写真のコレクション。その中から人生の節目に撮られたものを見ながら、フランス人の人生の節目の迎え方や、日本との価値観の違いを考えます。



ジレ写真館(上)と肖像写真(右上、右下)

■講師のプロフィール

●Sylvie Gillet-Suzuki (シルヴィ・ジレ=鈴木)氏

フランス オルレアン市生まれ

フランス国立東洋言語文化学院(INALCO)日本学科卒

北海道大学大学院文学研究科(言語学)修士課程修了

フランス国立東洋言語文化学院(INALCO)日本学研究科修士号取得(日本語)

元 NHK ラジオフランス語講座入門編講師

元玉川大学教授

著書 『やさしいフランス語の手紙の書き方』(共著、評論社)

『新・東京ーパリ、初飛行』(共著、駿河台出版社)

『東京ーパリ、フランス語の旅』(共著、駿河台出版社)

『言いたいことが言える、書きたいことが書けるフランス語の作文』(共著、三修社)。

